

サタンの誘惑にあう教会

ヨハネの黙示録二章12〜29節

私は、あなたの住んでいる所を知っている。そこにはサタンの王座がある。しかし、あなたは私の名をしつかり保ち、：

…私に対する信仰を棄てなかった。(13)

三番目のペルガモンの教会は、「サタンの王座がある」と言われるように、皇帝礼拝の中心地に立っていました。キリスト者に対して厳しい迫害があり、殉教者も出る中で、彼らは信仰を忠実に守り続けました。サタンは外部からの攻撃で落とすことが出来なかった教会に対して、内部からの崩壊を仕掛けます。間違った教えが教会に入り込み、偶像礼拝へと誘う力が働いていました。この地域にあるのだからこのぐらいは仕方ないではないか、と異教の飲食を共にすることによって崩壊が始まっていたのです。今も、「このぐらい」と私たちが考える小さなところから、信仰の綻びが始まります。主は「悔い改めよ」(16)とハッキリと語っています。外側からの攻撃だけでなく、内側から忍び寄るサタンの攻撃に対しても、常に備えている私たちでありたいと願います。